

2313 腎疾患に対する RI 腎スキャンと CT

スキャンの比較検討

齊藤知保子、小柴隆蔵（市立札幌、放）
伊藤和夫（北大、放） 大橋伸生、斯波
光生（市立札幌、泌尿）

腎疾患の診断は、最近の画像診断装置の開発に伴い、非侵襲的、かつより詳細な診断情報が得られる様になった。我々は昨年学会で、RI 腎スキャンの再検討を行ない報告した。今回は、昭和54年7月に設置されたCT スキャンと RI 腎スキャンとの比較を両検査が施行された76例に関して検討したので報告する。

検討内容は、① RI 腎スキャンと CT スキャンの腎内腫瘍性病変に対する検出能 ② 検出された腎内腫瘍性病変の質的診断率の比較 ③ CT 値よりみた腎内腫瘍性病変の特徴 ④ その他腎疾患一般に関し、CT スキャンと RI 腎スキャンの読影上の問題等である。

以上の検討結果から、当院で施行している腎疾患、とりわけ腎腫瘍性病変の鑑別診断の診断体系に関し言及する予定である。